

NILIM 2026

国総研レポート 2026



○「NILIM2026 国総研レポート 2026」とは

国総研の研究活動の理念、2025 年に進めてきた研究活動や成果および今後本格化しようとする取り組みを幅広く紹介する、研究活動のいわゆる「総合カタログ」です。より詳細な内容についてお知りになりたい場合は、研究紹介の中で示しております詳細情報等をご覧ください。

<表紙写真解説>



① 下水道管路内を調査する自走式点検カメラ（下水道管路模擬施設）

② 硫化水素による下水道管路内の腐食状況

硫化水素によって下水道管が腐食すると道路陥没などの事故を招く恐れがあるため、管路内を安全かつ効率的に調査し、異状を未然に発見することが重要である。国総研では「下水道管路模擬施設」を設置して調査機器の性能検証等を実施することで、民間企業による技術開発を促進している。

③ 新東名高速道路での自動運転トラックの実証実験

令和7年3月から新東名高速道路での自動運転トラックの実証実験を実施。国総研では、自動運転トラック向け路車協調システム（合流支援情報、工事規制情報など）を開発・設置し、システムの通信状況や情報提供された自動運転トラックの車両挙動を評価・分析し、自動運転トラック向け路車協調システムの技術仕様の作成に向けた課題を把握した。

NILIM 2026

国総研レポート 2026

CONTENTS

所長メッセージ	2
巻頭クローズアップ	4
各研究部・センターからのメッセージ	20
研究紹介	46
1. 国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	46
2. 社会の生産性と成長力を高める研究	78
3. 快適で安心な暮らしを支える研究	100
災害対応の支援	127
現場技術力の向上の支援	132
データの収集・分析・管理、社会への還元	133
技術連携	140
国際研究活動	144

詳細な目次は 17 ページに掲載しています